

令和5年度

第4回積志小学校学校運営協議会



令和6年2月14日(水)

浜松市立積志小学校

令和5年度 浜松市立積志小学校 学校運営協議会

会 長	渥美 年弘 様
副 会 長	高林 次枝 様
委 員	村田富佐子 様
委 員	小林 博典 様
委 員	高林亜衣子 様
委 員	竹内 涼子 様
委 員	市川 和廣 様
委 員	寺田 太一 様
委 員	伊達 麻絹 様

《学校職員》

校 長	佐藤 匡子
教 頭	伊熊 一隆
主幹教諭	平野 晶子
担当教諭	森山 貴史
C S ディレクター	杉浦 浩

第4回積志小学校学校運営協議会

日時：令和6年2月14日（水）
13:30～15:00

場所：積志小学校会議室

【司会：森山】

- 1 会長あいさつ
- 2 校長あいさつ
- 3 議長の選出
- 4 前回議事確認【資料1】
- 5 熟議 進行：議長
 - (1) 学校関係者評価について【資料2】
 - (2) 来年度の学校運営の基本方針について【資料3】
 - (3) 積志小学校運営協議会自己評価について【資料4】
- 6 連絡
 - (1) 関係各所からのお知らせ
 - (2) 来年度の学校運営協議会について
 - (3) その他

M E M O

令和5年度 第3回 積志小学校学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年10月11日（水） 13時30分から15時00分まで
- 2 開催場所 積志小学校 会議室
- 3 出席委員 渥美 年弘、村田富佐子、小林 博典、高林亜衣子
竹内 涼子、市川 和廣、寺田 太一、伊達 麻絹
- 4 欠席委員 高林 次枝
- 5 オブザーバー 小池 誠（積志協働センター）
- 6 学 校 佐藤 匡子（校長）、伊熊 一隆（教頭）、平野 晶子（主幹教諭）
森山 貴史（CS担当教諭）、杉浦 浩（CSディレクター）
- 7 教育委員会 堀田 洋一（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 杉浦 浩
- 10 会議記録

司会から、委員総数8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、会長から竹内委員を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 前回議事確認

司会から、別紙資料に基づき前回の議事について確認があった。

11 熟 議

議長の指示により、別紙資料に基づいて、グループに分かれて協議を行い、委員からは以下の発言があった。

グループA（渥美委員、竹内委員、村田委員、小林委員、森山教諭）

グループB（市川委員、高林委員、伊達委員、寺田委員、平野教諭）

(1) 積志小学校に通う子供たちの特徴と課題について

地域や学校における、子供たちの活動における良い表れと課題について、それぞれ意見や考え、子供たちの実態、各委員の疑問などを付箋に書き出し、それらを基にグループごとに話し合いを行った。

(2) 今後の学校支援について

(グループA)

- ・イベントには人が集まる。発信をしていけば、親子などの人は集まってくる。
- ・職業体験などができるイベントはどうか。父親も参加できるようになればよい。
- ・大人の体力テストなどのイベントもよいのではないか。

(グループB)

- ・今まで行った家庭科の授業や地域の探検などに、保護者の参加があれば助かる。
- ・ボランティアの方の登録をしていけば、学校にとってもよいのではないか。
- ・6年生の授業の中で、将来の職業について考える授業はどうか。いろいろな仕事につ

- いて話をしてくれる方がいるとよい。
- ・クラブ活動の時間も活用して、将来について考えるきっかけを作ってもよい。講師の方を地域から募集していくことも考えられる。
- すぐに新しいことを始めるのではなく、今ある活動の中に地域の人が入っていくとよい。
- そのために、ボランティアの方を募集していき、PTA などとも協力しながら来年度へつなげていきたい。(竹内委員)

12 その他報告事項等

関係各所からのお知らせ

- ・体育振興会より 10月22日に積志地区運動会を行う。レクリエーションを目的に個人参加であるので、呼びかけてほしい。
- ・学校より 3年生が地域の歴史学習を行う。市川委員が中心となって講師を集めて下さった。これもCSの大きな成果である。
- ・積志協働センターより 協働センターの活動から。金管バンドの活動が立ち上がった。また、積志協働センター祭りが今後行われる。

司会から、次回会議は、「令和6年2月14日(水)13:30~に会議室で開催する」旨の報告があった。

よりよい積志小づくりのためのアンケート（後期）

設問ごとの数値は、左から順に【①そう思う・②だいたいそう思う・③あまりそう思わない・④そう思わない・⑤分からない】の割合を示しています。

児童					保護者				
学校は楽しい。					お子さんは、楽しく学校生活を送っている。				
56.8%	33.8%	4.1%	2.3%	3.1%	34.8%	58.7%	4.1%	1.8%	0.7%
困ったり悩んだりしたとき、友達や家族や先生に相談できる。					お子さんは、困ったり悩んだりしたとき、家族に相談できる。				
37.4%	38.4%	11.8%	3.9%	8.5%	28.0%	62.0%	7.8%	0.8%	1.4%
自分から挨拶したり、挨拶されたら返事を返したりできる。					お子さんは、自分から挨拶したり、挨拶を返したりできる。				
52.5%	36.4%	7.0%	2.4%	1.6%	21.4%	57.8%	17.2%	2.7%	0.8%
きれいな言葉、温かな言葉を使っている。					お子さんは、きれいな言葉、温かな言葉を使っている。				
36.6%	47.6%	8.2%	2.1%	5.5%	8.5%	62.9%	25.0%	2.9%	0.7%
いじめたり、仲間外れにしたりしない。					お子さんは、いじめたり仲間外れにしたりしない。				
76.2%	17.4%	1.7%	1.2%	3.5%	41.6%	54.3%	2.2%	0.3%	1.6%
授業が楽しい。									
48.5%	35.9%	8.8%	3.1%	3.7%					
自分の思いや考えを言葉で伝えたり、ノートに表現したりすることができる。					お子さんは、自分の思いや考えを言葉で伝えることができる。				
31.0%	41.8%	16.0%	5.5%	5.9%	17.0%	57.4%	20.7%	4.0%	0.8%
学習に、パソコンやタブレットをよく使っている。					お子さんは、学習に、パソコンやタブレットを使っている。				
45.2%	35.2%	9.4%	4.7%	5.5%	22.0%	27.2%	26.0%	24.6%	0.3%
運動に親しんでいる。					お子さんは、運動に親しんでいる。				
55.7%	25.9%	11.3%	4.4%	2.7%	36.0%	40.2%	18.3%	5.2%	0.3%
早寝、早起きをし、朝ご飯を食べている。					お子さんは、早寝、早起きをし、朝ご飯を食べている。				
51.6%	33.5%	10.5%	2.4%	2.0%	48.5%	41.8%	8.1%	1.6%	0.0%
ねばり強くがんばることができる。					お子さんはすぐにあきらめずに、粘り強く活動できる。				
44.1%	37.5%	11.3%	1.6%	5.5%	14.4%	55.2%	24.0%	5.4%	1.0%
決まりやルールを守り、安全に生活している。					お子さんは、決まりやルールを守り、安全に生活している。				
56.5%	35.6%	4.1%	1.1%	2.7%	32.7%	61.4%	4.3%	1.1%	0.5%
将来の夢や目標をもっている。					お子さんは、将来の夢や目標をもっている。				
63.0%	19.3%	6.5%	4.4%	6.8%	18.8%	46.4%	24.7%	5.5%	4.5%

SWOT分析 まとめ

外部環境の支援的要因 (O)	内部環境の強み (s)
<ul style="list-style-type: none"> ○地域人材が豊富である。 ○自治会・地域が協力的である。 ○店・公共施設・寺院等があり学習環境に恵まれている。 ○米作りが盛んである。 ○鉄道の駅が近くにある。 ○歴史的史跡がたくさんある。 ○中学校が近い。 ○武生との交流が続いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が優しく素直落ち着いている。 ○児童数が多い。 ○学年・学年団の交流ができています。 ○職員が協力的・相談しやすい・働きやすい。 ○支援員が充実している。 ○発達支援級、通級など特別支援教育の環境が整っている。 ○校舎・施設が新しい。 ○運動場がすぐ乾く。 ○事務センターがある。 ○活動費・教材費が充実している。
外部環境の阻害的要因 (T)	内部環境の弱み (W)
<ul style="list-style-type: none"> ○学区が広く、通学距離が長い。 ○自然・公園が少ない。(あそび場が少ない) ○交通量が多く危険である。 ○大雨時、川の氾濫の危険性がある。 ○中学校との連携が薄い。 ○地域人材が活用しきれっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童数が多いため、実態把握が難しい。 ○児童数が多いため、一人一人の活躍の場が限られる。 ○児童数が多いため活動等に制限がある。 ○異学年交流が少ない。 ○生活習慣(挨拶・廊下歩行)が身につけていない。 ○精神的に弱い。 ○自己表現・自己主張が苦手である。 ○人間関係が希薄、複雑化している。 ○ICT活用が少ない。 ○校舎の修繕の必要な箇所が多い。 ○敷地内の自然が少ない。 ○反省を生かして変化していない。(行事等) ○家庭学習を見直したい。(家庭学習カード・自主勉) ○職員構成に偏りがある。 ○伝統がある反面、変わりにくい。

第3回積志小学校 学校運営協議会 SWOT分析まとめ

<p>地域の良い表れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 朝、夕のボランティアの旗振りが助かる。 ○ イベントでは、多くの子供が集まっていた。 ○ 他校に比べて、イベントへの子供の参加が多い。 	<p>学校の良い表れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教科担任はよいと思う。たくさん先生の先生に見ていただける。 ○ 登校・下校時にきちんとヘルメットをかぶっている。 ○ 素直な子が多い。 ○ タブレットの持ち帰り。
<p>地域の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 公園などで遊んでいる子が少ない。 ○ 特に、学年の違う子の交流がない ○ 地域のつながり、関わりが減っている。 ○ 地域・自治会・子供会の行事の参加率が下がっている。 ○ 放課後の遊び場所がない。 ○ インターネットの利用の仕方が気になる。 ○ 登校班ではなく、遅くにくる子がバラけていることがある。 ○ 進んで挨拶できず、近所、旗振りの方に挨拶してほしい。 ○ 逆に、地域の方は声を掛けていいか迷う。不審者扱い。 ○ 地域の情報が少ない。知らないイベントが多い。 ○ 大人のイベントへの参加者が減っている。 ○ 子供と接する機会が減っている。 	<p>学校の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 運動場で遊ぶ姿があまり見られない。 ○ コロナで学校へ来る機会が少なくなった。 ○ AIなど新しいものに触れる機会があるといい。 ○ タブレットの使用状況が気になる。 ○ 宿題でもっと活用できないか。一部の教科書は置いて行って ○ いるので、全部は無理だと思いが、ランドセルが重い。 ○ 下校時の歩き方が悪い。 ○ ヘルメットをかぶっていない子がいる。 ○ 先生の進め方で子供の出来具合が違う。 ○ 学童の送迎車が悪い。お迎えの車が危険。 ○ 登校時刻が早くないか？ ○ PTA行事が少ない。 ○ 宿題が少ない気がする。

令和6年度 浜松市立積志小学校 グランドデザイン

R6. 2. 14 現在

- 第4次教育振興基本計画
- ・持続可能な社会の創り手
 - ・ウェルビーイング
- 学習指導要領
- ・社会に開かれた教育課程
 - ・主体的、対話的で深い学び
- 令和の日本型学校教育
- ・個別最適な学び
 - ・協働的な学び
- 第3次浜松市教育総合計画
(後期計画2～6年度)
- ・未来創造への人づくり
 - ・市民協働による人づくり

＜学校経営の基本理念＞
すべては「子供たちのため」にある

志を育む学校

目指す学校の姿

- ・安心・安全で温かい空気が流れる学校
- ・子供と教職員の笑顔があふれる学校
- ・子供が失敗を恐れず、全力で挑戦できる学校
- ・教職員のチームワークとフットワークがよい学校
- ・家庭や地域と連携し、みんなで子供を育てる学校

積志小の歴史

- ・創立115年の伝統
 - ・校章に込められた願い
- 寒さに負けずたくましく咲く水仙と3つの志
- 積志(つみし) 
- 二志を積む

積志中学校区目指す子供の姿

- ・場に応じた挨拶ができる子
- ・多くのひととの人間関係を深めていくことができる子
- ・家庭と地域に感謝し、夢に向かって努力する子

学校教育目標 「夢をもち 未来をつくる子」

つ つよい子

たくましい心と体を持ち、最後まで自分の力でやり抜く

重点

- 1 主体的・継続的な体力づくり
 - ・きたえようカードの取組
- 2 しなやかで強い心づくり
 - ・レジリエンス力を育む活動
- 3 気付き、考える安全意識づくり
 - ・自分事としてとらえる交通教室・訓練
 - ・危険予知トレーニング

み みとめあう子

進んで友達とかかわり、多様性や互いのよさを認め合う

重点

- 1 異学年交流
 - ・子供が企画する交流の遊び
- 2 一人一人の活躍の場づくり
 - ・子供による学級・学年イベントの運営
 - ・委員会・係活動の自主的取り組み
- 3 互いのよさの認め合い
 - ・よさを認める雰囲気づくり
 - ・放送や掲示による称揚

し しんけん子

自己実現を目指し、友達と高め合いながら、主体的に学ぶ

重点

- 1 学びに向かう学級集団づくり
 - ・学習ルールの確立
 - ・伝え方・聴き方の定着
- 2 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
 - ・魅力ある単元構想
 - ・多様な学び方の設定(ICT活用)
- 3 カリキュラム・マネジメント
 - ・教科等横断的な単元学習計画
 - ・地域学習(生活・総合・社会等)

キャリア教育 ・かかわろう(人間関係形成・社会形成能力) ・みつめよう(自己理解・自己管理能力)
 ・やってみよう(課題対応能力) ・ひろげよう(キャリアプランニング能力)

命の尊重 発達支援教育の理念に基づく子供理解・支援 いじめが起きない学校風土 人権意識



地域とともにある学校

学校運営協議会(コミュニティ・スクール) ・意見・評価	地域の支援 ・登下校見守り ・健全育成	学校支援ボランティア活動 ・学習支援 ・環境支援 ・読書支援
保護者の協力・支援 ・基本的な生活習慣の確立 ・家庭学習の習慣づけ	武生東小と交流の支援 ・姉妹校交歓会 ・武生訪問	6校圏との連携 積志中学校 有玉小学校 萩原分校 橋爪幼稚園 有玉幼稚園
教職員、保護者、地域による 学びの環境づくり		関係機関との連携 ・SC、SSW等による支援 ・子供110番の家等の協力

令和6年度 浜松市立積志小学校 グランドデザイン

R6. 2. 14 現在

- 第4次教育振興基本計画
- ・持続可能な社会の創り手
 - ・ウェルビーイング
- 学習指導要領
- ・社会に開かれた教育課程
 - ・主体的、対話的で深い学び
- 令和の日本型学校教育
- ・個別最適な学び
 - ・協働的な学び
- 第3次浜松市教育総合計画 (後期計画2～6年度)
- ・未来創造への人づくり
 - ・市民協働による人づくり

＜学校経営の基本理念＞
すべては「子供たちのため」にある

志を育む学校

目指す学校の姿

- ・安心・安全で温かい空気が流れる学校
- ・子供と教職員の笑顔があふれる学校
- ・子供が失敗を恐れず、全力で挑戦できる学校
- ・教職員のチームワークとフットワークがよい学校
- ・家庭や地域と連携し、みんなで子供を育てる学校

積志小の歴史

- ・創立115年の伝統
 - ・校章に込められた願い
- 寒さに負けずたくましく咲く水仙と3つの志
- 積志(つみし) 
- ＝志を積む

積志中学校区目指す子供の姿

- ・場に応じた挨拶ができる子
- ・多くのひととの人間関係を深めていくことができる子
- ・家庭と地域に感謝し、夢に向かって努力する子

学校教育目標 「夢をもち 未来をつくる子」

つ つよい子

たくましい心と体を持ち、最後まで自分の力でやり抜く

重点

- 1 主体的・継続的な体力づくり
 - ・きたえようカードの取組
- 2 しなやかで強い心づくり
 - ・レジリエンス力を育む活動
- 3 気付き、考える安全意識づくり
 - ・自分事としてとらえる交通教室・訓練
 - ・危険予知トレーニング

み みとめあう子

進んで友達とかかわり、多様性や互いのよさを認め合う

重点

- 1 異学年交流
 - ・子供が企画する交流の遊び
- 2 一人一人の活躍の場づくり
 - ・子供による学級・学年イベントの運営
 - ・委員会・係活動の自主的取り組み
- 3 互いのよさの認め合い
 - ・よさを認める雰囲気づくり
 - ・放送や掲示による称揚

し しんけんな子

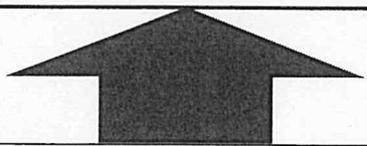
自己実現を目指し、友達と高め合いながら、主体的に学ぶ

重点

- 1 学びに向かう学級集団づくり
 - ・学習ルールの確立
 - ・伝え方・聴き方の定着
- 2 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
 - ・魅力ある単元構想
 - ・多様な学び方の設定 (ICT活用)
- 3 カリキュラム・マネジメント
 - ・教科等横断的な単元学習計画
 - ・地域学習(生活・総合・社会等)

キャリア教育 ・かかわろう (人間関係形成・社会形成能力) ・みつめよう (自己理解・自己管理能力)
 ・やってみよう (課題対応能力) ・ひろげよう (キャリアプランニング能力)

命の尊重 発達支援教育の理念に基づく子供理解・支援 いじめが起きない学校風土 人権意識



地域とともにある学校

学校運営協議会(コミュニティ・スクール) ・意見・評価	地域の支援 ・登下校見守り ・健全育成	学校支援ボランティア活動 ・学習支援 ・環境支援 ・読書支援
保護者の協力・支援 ・基本的な生活習慣の確立 ・家庭学習の習慣づけ	武生東小と交流の支援 ・姉妹校交歓会 ・武生訪問	6校圏との連携 積志中学校 有玉小学校 萩原分校 橋爪幼稚園 有玉幼稚園
教職員、保護者、地域による 学びの環境づくり		関係機関との連携 ・SC、SSW等による支援 ・子供110番の家等の協力

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

<本年度の目標>

- ・学校や地域の現状や課題などを知ること
 - ※ コロナ禍で、学校・保護者・地域のつながりが薄れ、お互いのことがよく分かっていない状況があるため
- ・子供たちの学習の助けになるボランティアの充実
 - ※ 家庭科のミシンや裁縫、調理実習などの授業のお手伝いや読み聞かせなどのボランティアを充実させる

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・学校運営についてはある程度しか理解できていないと思うが、運営委員会のメンバーになったことで学校内の子供たちの様子や校長先生をはじめ諸先生方がそれぞれ工夫された授業に取り組んでいる様子がよくわかった。
- ・校長先生より「学校経営書」や「グランドデザイン」をもとに学校経営の基本理念について具体的な説明があった。育てたい子供の姿や教師の願いなどの内容が理解でき、他の委員の方とも共有できた。
- ・子供たち、保護者、地域、全体で安心安全な学校生活を送るための熟議や話し合いができた。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・全体やグループで協議をする中で、どんな支援が必要でどんな支援ならできるか、少しずつ明確になったことで、学習ボランティア、家庭科ボランティアなど具現化され、実施につながった。子どもたちにも先生たちにとっても、またボランティアとして参加した人たちにとっても好評で大きな成果となった。特に、保護者が学校に目を向ける機会になってよかったと思う
- ・各委員それぞれの立場で意見を出し合うことはできたと思うが、熟議の場で具体的な支援活動につなげるのは難しいと感じた。今後は、家庭科授業、図工授業、体育授業などのような実技授業や学習、交通ボランティアなど「学校応援団」の必要性を感じた。地域内に知識を有する人達がいると思うので、自治会や子供会、敬老会など範囲を拡大して協力をPRすることが大切だと感じた。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・保護者へは、ボランティアの募集も行い、少しずつ認知されていると思うが、地域への周知は現時点では不十分だと思う。協議会の必要性や活動を周知する為の方法やツールを検討していく必要があると思う。活動の様子など、紙面だけでなくその時の状況がわかるような写真を載せると、より興味を持ってもらえるのではないかと、あと、ボランティア名(名称)のようなものをつけ親しみやすくしたい。
- ・情報発信については、まだ課題が多いが、自治会、子供会、敬老会、保護者、協働センターなどに地域をまきこんだ学校支援(ボランティア)の大切さを知らせ、協力を求めていくことも必要と思われる。(回覧・ボランティアの紹介・アピール・ボランティア登録など)
- ・来年度に向けて、保護者にチラシを配付し、ボランティア募集のアンケートを実施したところ、120人の方から参加したいとの回答を得た。また、入学前説明会で託児ボランティアを行い数人の保護者が参加した。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- ・学校のニーズに合った学校支援ボランティアの充実
- ・地域への周知と協力体制の確立
- ・ボランティアとの連絡ツールの確立
- ・ボランティア名の決定(マスコットキャラクター、ワッペンなどの作成)

ボランティア募集

学校運営協議会 委員長 渥美 年弘

積志小学校のコミュニティスクールとしての活動が始まり、1年半がたちました。保護者や地域の皆さんと「地域とともにある学校づくり」を目指しています。

積志小コミュニティスクールでは令和6年度に向けて、学校ボランティアの募集をしていきます。皆様のご協力ををお願いします。

積志小学校、主なボランティアの一例

学習支援

- 家庭科、習字、
図画工作、生活
科など
- 昔の遊び



環境整備支援

- 校内草刈り
- 長期休業中の水
やり
- 側溝の掃除



地域見守り支援

- 登下校時の見守
りやあいさつ運
動



学校行事支援

- 入学説明会時の
託児など

入学時説明会託児ボランティア募集！

日時：令和6年2月2日（金）10時～11時

集合：9時45分

場所：積志小学校体育館



活動内容

入学説明会時にお子さま連れや初めての方をサポートしていただける方

申し込み方法

ご協力いただける方は、さくら連絡網アンケートツールにてお返事ください

※ボランティア募集の一次締め切りは、1月26日までです。

問合せ

学校運営協議会コーディネーター

竹内 涼子

☎053-434-0027

○ 学校ボランティアに可能な範囲で参加してもよい。

はい 120 いいえ 521

○ 自由記述内容一覧

仕事の都合がつけば参加できる。(2)

いつも何かというとボランティア募集。困っていることがあればできる範囲で行動したいと思う人はいると思います。しかし、何か活動を始めにあたってタダでやってもらうことをまず考えるのではなく、労働に対しどう適切に賃金を支払えるかを最初に考えるようになってほしいです。

もしも参加できる場合ですが、その時も車で行かずに自転車または徒歩になるのでしょうか。(それによっても今後参加できるかどうかにも関わってきますので)

ボランティア参加の際、車で学校へ行くことは可能でしょうか？

仕事のない土日でしたら可能です。

仕事をしているので、都合の合う日があれば参加したいと思います。

内容や日程により参加出来るものがあれば参加します

特に何か出来るわけでは無いのですが、出来る範囲で参加いたします。